

G I G Aスクール構想について

【 G I G Aスクール構想とは 】

子供たち一人ひとりに個別最適化され、創造性を育む教育 I C T 環境の実現に向けて、令和時代のスタンダードとしての 1 人 1 台端末環境として、国が掲げる施策です。これは、学校における高速大容量のネットワーク環境（校内 L A N）の整備を推進するとともに、義務教育段階において、令和 5 年度までに、全学年の児童生徒一人ひとりがそれぞれ端末を持ち、十分に活用できる環境の実現を目指すものです。

当町においても、国の施策に基づき、宮代の全ての子供たちのため、本構想の実現を目指します。

【 国の補助事業の概要（令和元年度補正予算） 】

文科省が用意した補助金については、校内通信ネットワークの整備と、児童生徒 1 人 1 台端末の整備の 2 種類があります。

1) 校内通信ネットワークの整備 1, 296 億円（国の令和元年補正予算額）

補助要件 希望する全ての小・中・特支・高等学校等における校内 L A N を整備に加えて、小・中・特支等に電源キャビネットを整備。

国庫補助 1 / 2（上限 1 校あたり 3, 000 万円）

補助期間 令和 2 年度事業まで

<<令和元年度補正予算で事業を実施した場合>>

国庫補助（補助率 1 / 2）	交付税措置 60%	
補正予算債 100%		

※初年度一般財源持ち出しなし。

2) 児童生徒 1 人 1 台端末の整備 1, 022 億円（国の令和元年補正予算額）

補助要件 国公立の小・中・特支等の児童生徒が使用する P C 端末を整備

国庫補助 4. 5 万円（端末 1 台あたり定額）

※但し児童生徒数の 1 / 3 については既に地方財政措置がなされているとの考えのもと、一般財源による整備となる。

補助期間 令和 5 年度まで

【 町整備方針 】

1) 校内通信ネットワークの整備

- ・令和元年3月補正に計上し、令和2年度完了を目指す。
- ・小中学校全普通教室に無線アクセスポイントと情報コンセント、電源キャビネットの設置。
- ・職員室、特別教室の一部にアクセスポイントと情報コンセントの設置。
- ・体育館にアクセスポイントの設置。

2) 児童生徒1人1台端末の整備

- ・令和2年度から段階的に端末の導入を実施し、令和5年度までに端末一人一台整備を目指す。

【 想定事業費 】

1) 校内通信ネットワークの整備 180,287千円

<内 訳>

(単位:千円)

	設計金額(合計)	内 訳	
		無線LAN工事一式	電源キャビネット
須賀小学校	27,249	24,190	3,059
百間小学校	28,418	25,359	3,059
東小学校	24,604	21,545	3,059
笠原小学校	27,092	23,159	3,933
須賀中学校	23,363	21,615	1,748
百間中学校	27,576	25,391	2,185
前原中学校	21,985	20,455	1,530
合 計	180,287	161,714	18,573

※業者見積による

2) 児童1人1台端末の整備 98,460千円

<内訳>

小学生 1,477台

中学生 711台 合計2,188台(令和元年度ベース児童生徒数)

45,000円(補助単価)×2,188台=98,460,000円

98,460,000円 ×1/3 =32,820,000円(一般財源での整備)

98,460,000円 ×2/3 =65,640,000円(国庫定額補助)